

平成28年7月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の平成28年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.40倍となり、前月より0.01ポイント上昇となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.10倍となり、前月より0.07ポイント低下となった。

(求人・求職の動き)

- 7月の新規求人数(季節調整値)は前月比1.0%減となり、有効求人数(同)は前月比1.6%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比2.4%増となり、有効求職者数(同)は前月比0.7%増となった。
- 7月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると1.2%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比8.0%増)、製造業(同0.5%増)、情報通信業(同8.1%減)、運輸業、郵便業(同3.2%増)、卸売業、小売業(同2.3%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同7.6%増)、宿泊業、飲食サービス業(同3.1%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同8.6%減)、教育、学習支援業(同10.2%増)、医療、福祉(同6.7%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同7.2%減)となった。

